

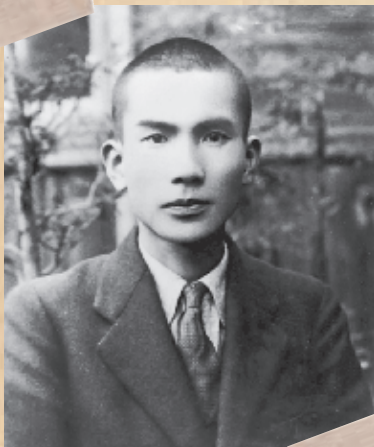
音楽の授業風景：安城高等女学校 昭和14年度卒業アルバムより 写真：新美南吉記念館提供

新美南吉先生と音楽

—安城高等女学校第19回生への聞き取りから—



安城高等女学校のグランドピアノ
写真：安城市歴史博物館提供



新美南吉—安城高等女学校教員時代
写真：新美南吉記念館提供

当時の教え子へのインタビューをとおして知る 新美南吉と女学生達の音楽環境

「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」で知られる童話作家、新美南吉（1913-1943）は、1938（昭和13）年から1942（昭和17）年までの約5年間、安城高等女学校の教師を勤めました。南吉がその赴任の年から4年間、持ち上がりで担任を受け持ったのが、安城高等女学校第19回生です。発表者は、南吉の教え子である第19回生を祖母に持ち、南吉が女学校への通勤の行き帰りに立ち寄った書店に育ちました。今回は、第19回生22名から直接うかがった様々なお話を軸に、南吉が残した日記を参照しながら、南吉と音楽、そして日中戦争から太平洋戦争に至る時代に青春を過ごした女学生たちをめぐる音楽環境についてお話ししたいと思います。

加藤 希央（かとうきお）

愛知県立芸術大学音楽学部器楽専攻ピアノコース卒業。同大学大学院音楽研究科博士前期課程（音楽学領域）修了、優秀学生賞および長久手市長賞受賞。修士論文「南吉の聴いた音楽——安城高等女学校教員時代の日記を手がかりに」が第13回日本修士論文賞佳作に選出される。またピアニストとして様々な演奏活動を行うと共に、児童芸術教育関連の社会的活動にも従事する。現在名古屋女子大学・至学館大学非常勤講師。

講師



♪日時 2016年3月12日（土） 13:30～15:30（開場13:00）

♪場所 中京大学名古屋キャンパス センタービル7階 0703教室
（地下鉄鶴舞線・名城線「八事」駅5番出口すぐ）

♪主催 中京大学 文化科学研究所 〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2 電話 052-835-7194

♪共催 （一社）東洋音楽学会西日本支部

入場無料

*予約不要。
会場へ直接おこしてください。